

委員会報告「橋梁プロジェクト企画調査研究小委員会」

委員長 奈良 敬（大阪大学）

「橋梁プロジェクト企画調査研究小委員会」は平成 21 年度に組織され、同年 8 月に開催された第 1 回の小委員会より活動を開始した。本小委員会は、我が国が迎えている少子高齢化社会に必要な社会基盤整備について考え、今後必要とされる社会基盤施設を企画し、その実現に必要な技術開発について調査検討を行った。

まず、橋梁について成熟国の課題として「造るから使うへ」と移行する中で、未来と夢として

老朽化対策

橋梁計画の重要性

プロジェクト企画の必要性

橋の貢献認知度の向上

を提案した。

次に関西の魅力的な橋梁ガイドとして

地下鉄沿線にある橋

大阪で一番 　　な橋

湾岸ドライブコースにある橋（大阪編・神戸編）

京都・滋賀にある有名な橋

を作成した。

そして、橋梁プロジェクトについて、

技術的価値（軟弱地盤・耐震・耐風・維持管理）

社会的付加価値（意匠・デザイン・観光・文化・ライトアップ）

に着目した事例を紹介した。

最後に橋梁プロジェクトとして、以下の企画立案を行った。

Bridge Clime in OSAKA（大阪に生息する恐竜に登ろう!!）

大阪市大正区の千歳橋のアーチに登るツアー

マジック・ブリッジ（のぼってるの？くだってるの？）

錯視効果により橋梁上を遊べるスポットにして、集客効果による周辺地域の活性化やイメージ改善を期待する

光が動く橋梁（発電式橋梁）

橋梁上を通行する自動車の振動を利用して発電し、新しいシンボルとなることを期待する。

この小委員会のまとめとしては、橋梁の夢づくりを目指して

橋梁遺産の広報

橋に興味を持ってもらうため、「魅力的な橋梁ガイド」を作成した

橋の貢献認知度の向上

「渡る」以外の付加価値がある「橋梁プロジェクト」を紹介した。

新規プロジェクトの創出

民間主導の橋梁事業として、3つの「橋梁プロジェクト企画」を提案した。